

【日本学生支援機構奨学金について】

*全体説明会で配布を予定していた資料です。

(1) 奨学金とは

★経済的理由で修学が困難な優れた学生に安心して学べるよう、学費の貸与・給付する制度です。

(2) 日本学生支援機構の奨学金とは

★奨学生の90%が利用している最も一般的な奨学金制度です。

(3) 奨学金の対象

★すべての大学・短期大学、ほとんどの専門学校で申し込むことができます。

(4) 奨学金の種類

(a) 給付奨学金	・返済の必要のない奨学金です。
(b) 第一種奨学金	・返済しなければなりません、無利息です。
(c) 第二種奨学金	・利息を加えた額を返済しなければなりません(上限3%)。

◇追加：入学時特別増額貸与奨学金(一時金)→10万円、20万円、30万円、40万円、50万円

(5) 給付奨学金

①**家庭の収入基準**→下の(ア)(イ)の条件を満たす必要があります。

(ア)所得要件は3つに区分されます		
支援区分	年収目安	支給額(私大自宅通学)
第Ⅰ区分(満額支給)	年収約270万円以下	年間約46万円
第Ⅱ区分(2/3支給)	年収約300万円以下	年間約30万円
第Ⅲ区分(1/3支給)	年収約380万円以下	年間約15万円

(イ)資産の基準(預貯金や現金など)の合計が基準額以下
◇生計維持者(父・母)が1人の場合1,250万円未満、2人の場合2,000万円未満。

②**学業に関する基準**

(ア)申込時までの評定平均値が3.5以上

(イ)3.5未満の場合は学修意欲が認められること→高校でレポートや面接により推薦

③給付奨学金に採用されると同時に大学等の授業料や授業料の減免制度が受けられます。

◇私大自宅通学の場合の減免上限額：入学金約26万円、授業料約70万円

④貸与奨学金を併せて希望できます。

(6) 貸与奨学金

①**第一種奨学金(利息なし)**

(ア)学力基準は評定平均値3.5以上(3.5未満の者で経済的理由により修学が困難な者)

(イ)家計基準の目安：年収747万円以下(4人世帯の場合)。

(ウ)貸与額(私大自宅通学の場合)→月額：54,000円、40,000円、30,000円、20,000円から選択。

②**第二種奨学金(利息あり)**

(ア)平均以上の成績の者。特定の分野において優秀な能力を有する者。勉学意欲のある者。

(イ)家計基準の目安：年収1,100万円以下(4人世帯の場合)。

(ウ)貸与額：2万円～12万円(1万円単位)から選択。

【日本学生支援機構のホームページには次のサイトがあります。】

①奨学金の種類や自分が利用できる奨学金を知りたい。

◇「進学資金シミュレーター」の中の「奨学金選択シミュレーション」

②いくら借りたらいくら返すのか。貸与総額や毎月の返済額、返済完了時期を知りたい。

◇「奨学金貸与・返還シミュレーション」

(7)募集時期

◇給付奨学金、貸与奨学金の予約採用は春募集のみです。

(8)生徒・保護者からの日本学生支援機構奨学金への問い合わせ窓口が設けられています。

奨学金制度や手続きに関する一般的な問い合わせ	◇日本学生支援機構奨学金相談センター 0570 - 666 - 301(平日 9:00 ~ 20:00)
マイナンバー提出に関する問い合わせ	◇マイナンバー提出用専用コールセンター 0570 - 001 - 237(平日 9:00 ~ 18:00)

(9)補足・注意事項

- ①奨学金の支給は、進学先等での手続き後になります。つまり、この奨学金は入学金や前期授業料の支払いには利用できません。
- ②高校での「予約採用」だけでなく、進学先での「在学採用」も可能です。
- ③説明会や書類の提出で、やむを得ない事情で出席、提出できない時は必ず担当者(西野)に連絡すること。
書類の不備・遅れがあった場合は、「予約採用手続き」を打ち切ちきることがあります。
- ④もし、わからないことがあれば、基本的に本人が直接担当者に問い合わせること。
- ⑤貸与型奨学金は、あなたが返済することになる借金です。いくら必要なのか計画をたてた上で、無理にない範囲で申し込むこと。

(10)今後の日程

★

この文書や支援機構のホームページにある「奨学金ガイドブック2020」などの資料を参考に、家族の方としっかり話しあい、奨学金の申し込みを希望する者に、以下の書類を配布します。

- ①「日本学生支援機構 奨学金 予約採用申込書類」
- ②「学校からの提出・説明書類一式」

【**申込み書類配布予定期日**】

★**期日…… 6月1日(月)～**

★「奨学金ガイドブック2020」で検索するとPDFファイルで見ることができます。